(様式3)

日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価(計画)シート

設置主体	名称	社会福祉法人 ジョイントライフ(予定)	報告日	令和7年4月3日
	所在地	霧島市隼人町真孝2681番地3		
事業所	名称	日中サービス支援型共同生活援助事業所 ウィルライフ(予定)	評価日	令和7年7月31日
	所在地	霧島市隼人町真孝2681番地		

事業所の運営方針	<p>(運営規程の抜粋等を記入)</p> <p>1 事業所は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。</p> <p>2 事業所は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供を行う。</p> <p>3 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、従業者に対し、研修を実施する等の措置を講ずる。</p> <p>4 事業の実施にあたっては、前3項の他、関係法令等を遵守する。</p>
事業内容	<p>○事業所開設日 令和7年9月1日(予定)</p> <p>○配置職員数 管理者 1人、サービス管理責任者 1人、世話人 5.6人、生活支援員 1.8人、 夜間支援従業者 0.8人</p> <p>○利用定員 共同生活援助 19人、短期入所定員 1人</p> <p>○利用者数 20人</p> <p>内訳 障害支援区分 非該当 1人、区分1 1人、区分2 2人、区分3 4人、 区分4 6人、区分5 2人、区分6 3人</p> <p>年齢 29歳まで 2人、30歳代 5人、40歳代 5人、 50歳代 4人、60歳以上 3人</p>

項目	評価の視点	事業所記入欄（具体的な内容）	協議会記入欄（要望、助言、評価） 【問題がない場合は口にチェック】
地域に開かれた運営	実習生やボランティアを受け入れているか。	（受入人数） 月間 1人 （受入計画） 加治木養護学校より実習生の受け入れ	☒ 問題なし
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	（交流機会の計画） ・自治会への入会 ・近隣事業所よりご案内いただいた地域イベントへの参加 ・事業所近隣の清掃活動	☒ 問題なし
短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（利用者数） 年間 9人	☒ 問題なし
	緊急的利用のニーズに対応しているか。	（緊急受入人数） 月間 1人 （緊急受入計画） 利用者家族が急遽入院や虐待事案が発生しお世話をする人がいなくなってしまった場合等	☒ 問題なし

項目	評価の視点	事業所記入欄（具体的な内容）	協議会記入欄（要望、助言、評価） 【問題がない場合は口にチェック】
常時の支援体制	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	<p>（体制等計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間体制 <p>平日、土曜日 3 名以上配置 日祝日 2 名以上配置 夜間支援員 2 名</p>	<p>☒ 問題なし</p> <p>●委員⇒人員体制について、事業のところで配置職員数が夜間支援従業者が 0.8 人で、常時の支援体制が、夜間支援員 2 名とあるのは、常勤換算であると思うが説明を。</p> <p>●社会福祉法人ジョイントライフ⇒区分によって、配置の人数が変わる。夜間でも十分支援体制ができる配置ということで、2 名で対応しているところ。職員配置については、介護サービス包括型で、3つのグループホームを見ているため、そちらの見直しも図りながら、十分夜間支援体制ができるような配置にしていこうと考えている。</p> <p>●委員⇒看護師は常に 1 名。昼間だけの常駐か。夜間も常駐されるのか。もし、症状が出たり、何か出るときは、夜が多い。夜、職員対応でできるのか。看護師がいての対応になるのか。</p> <p>●社会福祉法人ジョイントライフ⇒法人の中に訪問看護も入っているため、訪問看護が 24 時間体制で対応できる。オンコール体制もある。</p> <p>（助言）</p> <p>●委員⇒精神科病院では管理者として、利用者に直接職員がいないところで、どんな様子かを聞くとか、いろんなチェックリストができています。そのようなものを利用して、工夫していかれたらと</p>

			思う。精神科病院もこういう施設を今後どんどん利用すると思うため、よろしく願いたい。
支援の実施	<p>重度化・高齢化等で（支援内容の計画） 日中をホーム内で過身のまわりの環境整備や体調管理、食事提 ごす利用者への支援供、余暇活動への参加及び排泄介助等の支 はどのようにしてい援を行う。 るのか。</p>		☒ 問題なし
	<p>利用者が充実した地域生活を送るため、 外出や余暇活動等の支援に努めているか。</p>	<p>（外出や余暇活動の計画） 年間行事の計画を立て、四季を感じられる 行事を取り入れていく。</p>	☒ 問題なし ●委員⇒日中サービス支援型グループホームの制度について、一般の精神科も障害の自立支援グループホームも昼間は就労支援事業所など行くようにして、なるべくグループホームの中にいないで、外に出るよう指導されるグループホームもある。今回のグループホームは、日中グループホームにずっといるというようなイメージのものか。 ●霧島市⇒日中生活支援型グループホームは、通常のグループホームと同じように、日中は地域に出ていただくことも可能。その支援をグループホームの職員が行うこととなっている。できるだけ地域で、自分の思うように過ごせるようにするというのが、この制度の目的であるため、そのような支援を期待している。 ●社会福祉法人ジョイントライフ⇒基本的には利用者が別のところで日中活動ができるよう支援する体制を考えている。

	<p>支援の質の確保に努めているか。(資格取得、研修等)</p>	<p>(取得した資格、参加した研修名とその人数等) 強度行動障害(基礎研修) 1名 サービス管理責任者(基礎研修) 1名 サービス管理責任者(実践研修) 1名</p>	<p>☒ 問題なし</p> <p>●委員⇒最近では人権の擁護とか虐待の防止に力を入れるように、どこの事業所も心がけていると思う。ややもすると余裕の慣れが出てきたときに、油断が出てくるのではと思うが、管理者による指導など考えているか。</p> <p>●社会福祉法人ジョイントライフ⇒特に人権に関しては、理事長を筆頭に、一番重要事項として考えている。利用者を預かっている立場にあるので、日頃の利用者への言葉かけ、支援の様子、それを逐一遵守しながら、適切な言葉であるかどうか、またサビ管と情報交換しながら、適切な支援がなされているかどうか日々管理している。何かあれば、その場で直接指導するということになっている。</p>
	<p>体験的利用のニーズに対応しているか。</p>	<p>(体験利用人数) 年間 4人 (体験利用の計画) 精神科病院に入院中で退院に向けた試験外泊の利用を実施している。</p>	<p>☒ 問題なし</p>

項目	評価の視点	事業所記入欄（具体的な内容）	協議会記入欄（要望、助言、評価） 【問題がない場合は□にチェック】
適切な支援の提供	指定計画相談支援事業者を別法人等で確保しているか	（別法人等の指定計画相談支援事業所の確保） 別法人等の計画相談の確保（ 19 ）人中（ 5 ）人 （確保している主な計画相談事業所） ・福祉相談支援センターぱらそる ・鈴かけ園 ・相談支援スポットたけのこ ・相談支援事業所たんぽぽ ・相談支援事業所ほっと	☒ 問題なし
その他	事業所で上記の項目の他、又は独自で取り組んでいることはあるか。	（取組内容等） ・避難訓練 年2回等を予定。 ・初任者研修資格取得 ・介護ロボットの導入・使い方の研修予定	☒ 問題なし
協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	要望、助言に誠実に対応しているか。	（要望・助言の内容及びその対応）	☐ 問題なし

※事業指定の申請の際は、「事例」を「計画」と記載してください。